



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年1月29日

上場会社名 橋本総業ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7570 URL <http://www.hat-hd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 政昭
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 財務部長 (氏名) 佐々木 地平 TEL 03-3665-9000
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月4日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	97,588	3.3	1,672	13.4	1,879	12.1	1,249	9.0
30年3月期第3四半期	94,452	5.1	1,474	35.1	1,677	37.2	1,146	71.8

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 982百万円 (△39.2%) 30年3月期第3四半期 1,614百万円 (47.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	134.34	133.94
30年3月期第3四半期	123.30	122.93

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	64,700	19,782	30.5
30年3月期	59,407	19,233	32.3

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 19,746百万円 30年3月期 19,196百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00
31年3月期	—	18.00	—		
31年3月期(予想)				18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	1.3	2,400	7.9	2,600	5.8	1,650	△4.3	177.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料P.7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	9,678,660株	30年3月期	9,678,660株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	430,249株	30年3月期	378,098株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	9,300,176株	30年3月期3Q	9,296,857株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の建設業界は、民間住宅投資は、貸家の着工減の影響はあるものの持家は底堅く推移致しました。また民間非住宅投資についても、企業の設備投資の増加を背景とし、前年度比プラスで推移しました。一方、公共投資は、ほぼ横ばいと予想され、業界全体として若干のプラスの中で推移しています。

	平成30年度見通し		内 訳		
	名 目 投資額 (兆円)	対前期 増減率 (%)			
建設投資 (新設)	57.2	2.1	【住宅】 ↗ (2.2%)	【非住宅】 ↗ (4.6%)	【政府】 → (0.1%)
民間住宅	16.3	2.2	【持家】 ↗ (4.0%)	【貸家】 ↘ (△1.3%)	【分譲】 ↗ (3.9%)
民間非住宅	17.8	4.6	【事務所】 ↗ (4.8%)	【倉庫】 ↘ (△3.8%)	【工場】 ↗ (5.8%)
政府	23.1	0.1	【建築】 ↗ (4.1%)	【土木】 ↘ (△1.6%)	
リフォーム (既築)	13.1	4.1	【住宅】 ↗ (4.1%)	【非住宅】 ↗ (4.9%)	
計 (新設+既築)	70.3	2.4	民間住宅 ↗	民間非住宅 ↗	政府 →

(国土交通省、建設経済研究所資料より当社推定)

このような経済状況のなか、当社グループは中長期的な経営戦略に沿って、重点施策を着実に推進するとともに、積極的な営業活動を展開してまいりました。その結果、連結ベースの売上高は97,588百万円(前年同四半期比+3.3%)、売上総利益は10,012百万円(同+5.0%)となりました。販売費及び一般管理費は8,340百万円(同+3.5%)で、営業利益は1,672百万円(同+13.4%)、営業外損益は207百万円(同+2.3%)計上でき、経常利益は1,879百万円(同+12.1%)となりました。

特別損益は、投資有価証券売却益等を特別利益に、また固定資産除却損等を特別損失に計上し、その結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,249百万円(同+9.0%)となりました。

セグメント別に見ると

管材類は売上高が31,685百万円で、前年同四半期比889百万円の増加(+2.9%)となりました。

これは主に、新築・リフォーム需要の減少、金属管材需要の落ち込みがあった一方で、素材価格上昇による製品価格への転嫁等により売上が伸長したことによるものです。

衛生陶器・金具類は売上高が28,066百万円で、前年同四半期比197百万円の増加(+0.7%)となりました。

これは主に、新築・リフォーム需要の低迷により、主力商品である一般衛生陶器・水栓金具の需要がやや落ち込んだ一方で、非住宅物件向けの需要が好調に推移したことによるものです。

住宅設備機器類は売上高が15,913百万円で、前年同四半期比184百万円の増加(+1.2%)となりました。

これは主に、新築・リフォーム需要の低迷により、システムキッチン・浴室・ガス給湯器の需要がやや落ち込んだ一方で、業務用給湯器・建材商品の需要が伸長したことによるものです。

空調・ポンプは売上高が20,815百万円で、前年同四半期比1,943百万円の増加(+10.3%)となりました。

これは主に、業務用空調機の更新需要の継続、上期納入予定の納期遅延及び、住宅用空調機器の中高級機へのシフトが進んだこと、また汎用ポンプ、家庭用ポンプの需要が堅調に推移したことによるものです。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、5,292百万円増加(+8.9%)し、64,700百万円となりました。

これは主に、受取手形及び売掛金並びに電子記録債権の増加等によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて、4,743百万円増加(+11.8%)し、44,917百万円となりました。

これは主に、短期借入金の増加等によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて、549百万円増加(+2.9%)し、19,782百万円となりました。

これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では通期業績予想等につきまして、平成30年5月9日に発表した業績予想のとおりです。なお、業績予想を見直す必要が生じた場合には、速やかに開示する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,914	3,653
受取手形及び売掛金	23,697	25,578
電子記録債権	2,977	5,066
有価証券	-	101
商品	6,621	6,996
未成工事支出金	81	834
未収還付法人税等	81	109
その他	1,565	1,433
貸倒引当金	△31	△38
流動資産合計	37,909	43,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,140	5,231
減価償却累計額	△2,947	△3,083
建物及び構築物 (純額)	2,193	2,148
機械装置及び運搬具	186	185
減価償却累計額	△116	△123
機械装置及び運搬具 (純額)	69	61
土地	7,480	7,560
建設仮勘定	-	4
その他	745	781
減価償却累計額	△555	△612
その他 (純額)	189	168
有形固定資産合計	9,933	9,944
無形固定資産		
のれん	86	67
その他	170	138
無形固定資産合計	256	205
投資その他の資産		
投資有価証券	6,524	6,099
長期貸付金	596	501
破産更生債権等	229	133
保険積立金	3,344	3,375
敷金及び保証金	351	352
退職給付に係る資産	-	18
繰延税金資産	304	292
その他	242	229
貸倒引当金	△284	△187
投資その他の資産合計	11,308	10,814
固定資産合計	21,498	20,964
資産合計	59,407	64,700

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,597	18,405
電子記録債務	10,632	10,594
短期借入金	4,600	9,785
1年内返済予定の長期借入金	641	500
未払法人税等	464	274
未成工事受入金	85	846
預り金	118	186
賞与引当金	410	214
その他	804	809
流動負債合計	36,355	41,617
固定負債		
長期借入金	680	330
繰延税金負債	1,686	1,574
再評価に係る繰延税金負債	316	316
役員退職慰労引当金	72	29
退職給付に係る負債	135	112
預り保証金	686	686
その他	241	249
固定負債合計	3,819	3,300
負債合計	40,174	44,917
純資産の部		
株主資本		
資本金	542	542
資本剰余金	443	447
利益剰余金	17,055	17,947
自己株式	△359	△437
株主資本合計	17,682	18,500
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,353	1,066
土地再評価差額金	315	315
退職給付に係る調整累計額	△154	△135
その他の包括利益累計額合計	1,513	1,246
新株予約権	37	35
純資産合計	19,233	19,782
負債純資産合計	59,407	64,700

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	94,452	97,588
売上原価	84,918	87,575
売上総利益	9,533	10,012
販売費及び一般管理費	8,059	8,340
営業利益	1,474	1,672
営業外収益		
受取利息	42	31
受取配当金	91	101
仕入割引	478	506
その他	85	69
営業外収益合計	697	708
営業外費用		
支払利息	29	23
売上割引	334	355
手形売却損	25	27
営業外手数料	67	58
貸倒引当金繰入額	5	-
その他	32	34
営業外費用合計	495	500
経常利益	1,677	1,879
特別利益		
固定資産売却益	-	21
投資有価証券売却益	81	39
その他	6	-
特別利益合計	88	61
特別損失		
固定資産売却損	-	1
固定資産除却損	10	9
その他	2	-
特別損失合計	12	10
税金等調整前四半期純利益	1,752	1,930
法人税等	606	681
四半期純利益	1,146	1,249
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,146	1,249

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
四半期純利益	1,146	1,249
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	448	△286
退職給付に係る調整額	20	19
その他の包括利益合計	468	△267
四半期包括利益	1,614	982
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,614	982

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。